

EMBLAZE

.HOT SPOTS

USER'S
GUIDE

GE



クイックリファレンス

Emblaze HotSpotsインターフェースは、コマンドおよび機能すべてに対して簡単にアクセスできるようにします。



背景イメージをロードする

1. Backgroundボタンをクリックします。Load Backgroundダイアログボックスが表示されます。
2. Load Backgroundダイアログボックスから、背景イメージファイルを見つけます。
 - ・ 選択したファイルのサイズを調べるには、選択したファイルのサイズボックスをチェックします。
 - ・ 選択したイメージの縮小版を表示するには、Previewボタンをクリックします。

メディア(イメージファイル)をインポートする

1. Mediaボタンをクリックします。Import Mediaダイアログボックスが表示されます。
2. Import Mediaダイアログボックスからイメージファイルを見つけます。
3. インポートしたい項目を選択し、Addボタンをクリックします。インポートされる項目がリストに表示されます。
4. Importボタンをクリックします。

エリア選択ツールを使用する(ホットスポットの定義)

1. エリア選択ツールボタンをクリックします。

2. ホットスポットとして定義した領域の外側にポインタを置きます。
3. カーソルを斜めにドラッグし、定義したい領域を囲みます。

ホットスポットを扱う

1. 矢印ツールボタンをクリックします。
2. イメージの選択領域にポインタを置き、クリックします。
 - ・ 一度に複数領域を扱うには、複数の選択領域を1つのグループにします。そのためには、Shiftキーを押したまま別のホットスポットをクリックします。あるいは、選択したい領域の外側にポインタを置き、選択したい領域全てを囲むようにマウスでドラッグします。

ホットスポットの形状を変更する

1. 矢印ツールボタンをクリックします。
2. あらかじめ作成したホットスポットをクリックします。ホットスポットを定義しているポイントがハイライト表示されます。
3. ハイライト表示されたポイントをドラッグして、ホットスポットの形状を変更します。

Emblaze HotSpots

ユーザ・ガイド

© 1997年 GEO Interactive Media Group株式会社。著作権所有。本書のいかなる部分も、形式、手段を問わず、事前に文書によるGEO Interactive Media Group株式会社の同意なしに複製、転送、複写、検索可能なシステムへの保存、あらゆる言語またはコンピュータ言語への翻訳を行なってはなりません。

Emblaze Hot Spotsユーザガイドは、Microsoft WindowsおよびApple MacOS用です。

本書は、本書に記載されているソフトウェアと同様にライセンスの下で作成されており、当該ライセンスの条件に従って使用またはコピーできます。本書には、著作権法（上記参照）によって保護されている占有情報が入っており、事前の連絡なしに変更されることがあります。

本書の情報の正確を期するため、あらゆる努力が払われています。GEO Interactive Media Group株式会社は、印刷上またはタイプ上の誤りについては責任を持ちません。また、本書に存在する誤りまたは不正確な記述についても何ら責任を持たないものとします。第三者の製品に関する記述は説明のためだけのものであり、保証も推奨も行なうものではありません。GEO Interactiveは、これらの製品の性能については何ら責任を持ちません。

Apple、Macintosh、Power Macintosh、PowerPCはApple Computer株式会社の登録商標です。System 7はApple Computer株式会社の商標です。GEO、Emblaze、Hot SpotsはGEO Interactive Media Group株式会社登録商標または商標です。MicrosoftおよびWindowsは米国またはその他の国あるいはその両方のMicrosoft Corporationの登録商標です。その他の商標はすべてそれぞれの所有者の所有物です。

目次

はじめに	7
Emblaze HotSpotsの紹介	7
機能	9
本書について	10
最低システム要件	10
Windows版	10
Macintosh版	10
1 インストール	11
Windows版	11
Macintosh版	12
2 HotSpotsインタフェース	13
HotSpotsインタフェース(画面)	14
ファイル操作ツールバー	14
エリア選択ツールバー	14
インタラクティブツールバー	15
ズームツールバー	15
配置ツールバー	16
位置決めツールバー	16

ダウンロード時間モニター	17
メディアリストボタン	17
プレビューボタン	18
3 – HotSpotsプロジェクトファイルの作成	19
背景をロードする	19
メディアをインポートする	20
ホットスポット領域(複数も)を定義する	21
データを開く/保存する	24
4 – インタラクティブなホットスポットの作成	25
インタラクティブなホットスポットを作成する	25
名前を付ける	26
Import Mediaボタン	26
ROLL-OVER (ロールオーバー)	27
CLICK	31
5 – アクティブマップファイルの作成	35
索引	37
ユーザ サポート	40

はじめに

Emblaze HotSpotsの紹介

Emblaze HotSpotsを使えば、短時間で、効果音、グラフィックの変化、他のURLへのリンクなどが埋め込まれた、インタラクティブなイメージマップが簡単に作成できます。

イメージマップ上の各領域には、特定のURLへのリンク、効果音、マウスカーソルのロールイン、ロールアウト、マウスボタンのクリックなど、1つまたは複数のイベントを簡単に割り当てることができます。

範囲選択ツールを使って、インタラクティブリティを設定したい領域を最高50まで指定できます。

グラフィック上の領域は、四角形、円形、不規則なフリーハンド形状などで定義できます。

さらに、ダウンロード時間モニターを使用すれば、Web閲覧者のさまざまなモデム速度にあわせて、ダウンロード時間を調整することができます。

内臓されているシュミレーションツールで14.4KbpsからISDNまでの回線速度で、作品がどのように配信されるか体感することができます。

Emblaze HotSpotsでは次の2種類のファイルが生成されます。

1. プロジェクトファイル。このファイルには、Emblaze HotSpotsを使って作成するアクティブなマップのすべてが含まれます。Emblaze HotSpotsによって編集または変更できます。Emblaze HotSpotsによってつくられる作品を管理するファイルです。このプロジェクトファイルを使って作品を編集し、作品が完成した後、Webブラウザで参照可能なフォーマットに変換します
2. インターネットを通してWebブラウザ上で参照可能なファイル群。Webサイトから配信でき、Web閲覧者が参照するために必要な、すべてのファイルが含まれます。

Emblaze HotSpotsは、以下のファイルが入っているフォルダを作成します。

- ・ EHS : 変換済みEmblaze アクティブマップ インターネット最適化ファイル
- ・ HTML : HTML形式のテキストファイル。作成されたEHSファイルに対する呼び出しが入っています。
- ・ GIF : アクティブマップの作成に使用するGIFファイル。
- ・ JPEG : アクティブマップの作成に使用するJPEGファイル。
- ・ CLASS & CAB : Emblaze HotSpot プレーヤーファイル。
- ・ AU : アクティブマップで使用するサウンド効果。

機能

開発者のためのクリエイティブなツール

- ・ 効果音、グラフィックの変化、他のURLへのリンクなどインタラクティブな要素を持った、ナビゲーション機能的なイメージマップが簡単に作成できます。
- ・ 最高50までの領域にイベントを指定できます。
- ・ マウスカーソルの移動、マウスクリックなどにあわせて、インタラクティブ性の追加や他のURLへのリンクなどが設定できます。
- ・ インターネットにおける一般的な、標準イメージフォーマットをインポートできます。
- ・ ダウンロード時間モニターにより、再生をスムーズに行うために、転送速度にあわせて作品を最適化できます。
- ・ Adobe PageMillやMicrosoft FrontPageなどのHTML作成ツールで編集可能なHTMLファイルを生成します。
- ・ インタラクティブなイメージマップの追加が誰でも簡単に行えます。プログラミングの知識やHTMLの知識は不要です。

見る人を楽しませるWebサイト

- ・ CD-ROM用マルチメディアタイトルのような芸術的で楽しいグラフィック
- ・ どこでも見られる：Windows、Macintosh、UNIXなど、あらゆるプラットフォームのJavaをサポートする一般的なWebブラウザ上で見ることができます。

本書について

Emblaze HotSpotsを使用する前に、必ず本書をお読みください。インストールの説明、製品の各種機能の概要、その他重要事項の詳細が記載されています。本書には以下の情報が網羅されています。

- ・ Emblaze HotSpotsソフトウェアのインストールに関する説明
- ・ Emblaze HotSpotsの各種機能のまとめ
- ・ Emblaze HotSpotsを使用したWebページの最適化に関する説明
- ・ Emblaze HotSpotsの性能を改善し、効果的に使用するためのヒント

最低システム要件

Emblaze HotSpotsを使用するには、以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

Windows版

- ・ Pentium/100MHz以上
 - ・ Microsoft Windows 95
 - ・ 16MB RAM
 - ・ 15MBハードディスク・スペース
 - ・ SVGAディスプレイ256色以上
 - ・ 解像度640×480以上
 - ・ 2X CD-ROMドライブ以上
- (ソフトウェアはCD-ROMからインストール)

Macintosh版

- ・ 68040/PowerPC80MHz以上
 - ・ 漢字Talk7.5以上
 - ・ 16MB RAM
 - ・ 20MBハードディスク・スペース
 - ・ 解像度640×480以上
 - ・ 2X CD-ROMドライブ以上
- (ソフトウェアはCD-ROMからインストール)

1 インストール

本章では、Emblaze HotSpotsをコンピュータにインストールする方法について説明します。インストールを開始する前に、以下の重要な情報をお読みください。

- ・インストール中は、画面に表示される情報をすべて読むようにしてください。
- ・インストール完了後、README.TXTファイルにある、本書に記載されていないソフトウェアの更新情報をお読みください。

Windows版

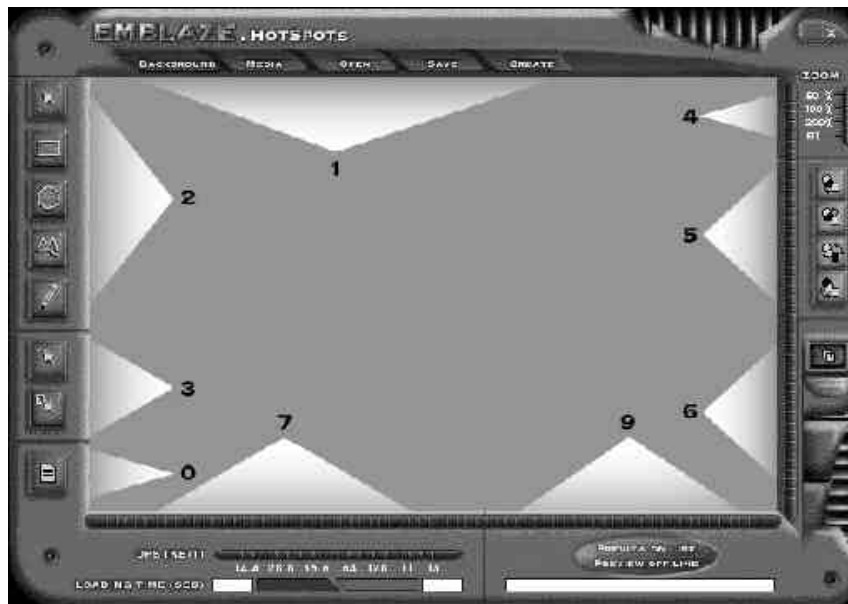
1. CD-ROMドライブにEmblaze HotSpots CDを挿入します。
2. [スタート]メニューの[ファイル名を指定して実行]を選択し、"d:\setup"とタイプしてから[Enter]キーを押します(dはCD-ROMドライブのドライブ文字)。インストールウィザードが表示されて、残りのインストール手順を指示します。画面に表示される説明に従ってください。
3. インストール手順が完了したら、コンピュータを再起動します。

Macintosh版

1. CD-ROMドライブにEmblaze HotSpots CDを挿入します。CDの内容を示すウィンドウが表示されます。
2. Emblaze HotSpots Installerアイコンをダブルクリックします。
3. インストールプログラムが表示されたら、Emblaze HotSpotsをインストールするフォルダを選択し、「インストール」ボタンをクリックします。
4. プロンプトが表示されたら、「続行」をクリックすると実行しているその他のアプリケーションをすべて終了して、インストール手順を開始します。
5. インストールが完了したら、「再起動」ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

2 HotSpotsインタフェース

本章では、HotSpotsインタフェースとそのツールバーについて説明します。



HotSpotsインタフェース（画面）

HotSpotsユーザインタフェースは、画面の境界周辺にあるアクティブウィンドウはツールバーとコントロールパネルで構成されています。本章では、さまざまなツールバーについて説明します。

ファイル操作ツールバー



このツールバーを使用すると、アクティブマップで必要なファイルをロードし、調整することができます。

エリア選択ツールバー



このツールバーを使用すると、ホットスポットの領域と形状を定義することができます。矢印ボタンにより、領域の選択と、他のボタンでホットスポット領域の形状を定義することができます（アクティブマップ）。

インタラクティブツールバー



このツールバーにより、インタラクティブ領域を挿入、編集、削除することができます。詳細については、本書の後半にある「ホットスポットをインタラクティブにする」を参照してください。

ズームツールバー



このツールバーにより、アクティブマップの表示を変えることができます。あらかじめ決められている以下のサイズにズームインまたはズームアウトすることができます。

- 50% イメージの実サイズの半分
- 100% イメージの実サイズ
- 200% イメージの2倍サイズ
- FIT 表示画面のサイズに見合ったイメージを表示します

配置ツールバー



前面に移動

背面に移動

最背面に移動

最前面に移動

このツールバーにより、画面上で互いに重なっている2つのホットスポットを並び替えし、1つを後ろにしたり、1つを前にしたりすることができます。

位置決めツールバー



このツールバーを使用すると、アクティブマップ内にあるロールオーバーとクリック可能なメディアすべての位置、サイズをさらに詳しく設定し、微調整することができます。

ダウンロード時間モニター



このコントロールパネルには、時間フィールドが2つとスライダが1つあります。スライダを使用すると、指定のモデム速度を選択することができます。時間フィールドは、イメージをダウンロードするのに要する秒数を表示します。インタラクティブなホットスポットを定義すると、時間モニターはホットスポットを2つの部分に分けます。青い方は背景のロードに要する時間を表示し、黄色い方は個々のメディア項目のロード時間を表示します。

メディアリストボタン



このボタンをクリックすると、アクティブマップを構成する（HTMLファイル、背景イメージ、GIFファイルなど）すべてをリストします。

プレビューボタン

プレビューボタンにより、作成中のデータをプレビューまたは「テスト」することができます。このボタンには、オンラインプレビュー（Preview On Line）とオフラインプレビュー（Preview Off Line）の2つの部分があります。



オンラインプレビュー（Preview On Line）

インターネットに接続している場合のアクティブマップ再生モードです。このボタンをクリックしたときにインターネットに接続していない場合には、Webブラウザの設定を使用して接続しようとします。オンラインプレビューは、HotSpotsウィンドウ内のすべてのアクション（ロールオーバーやクリック）をプレビューし、デフォルトWebブラウザを使って、HotSpotに指定されたURLを開きます。

オフラインプレビュー（Preview Off Line）

オンラインプレビューと同じようにアクティブマップの再生は行えますが、接続しているかどうかのチェックは行わず、指定されているURLアドレスを開きません。

ファイルをプレビューするとき、URLリンクのあるホットスポットにマウスのカーソルが移動すると、指定されたアドレスがプレビューボタンの下のフィールドに表示されます。

プレビューを止める

- ・ Stop Previewボタンをクリックします。（プレビューモードにあるとき、プレビューボタンはStop Previewボタンになります。）

ヒント：100%以外のズームモードにあるときにプレビューボタンをクリックすると、Emblaze HotSpotsはズームモードを自動的に100%に変えます。

3 HotSpots プロジェクト ファイルの作成

背景をロードする

背景イメージをロードする

1. Backgroundボタンをクリックします。Load Backgroundダイアログボックスが表示されます。



2. Load Backgroundダイアログボックスで背景イメージファイルを見つけ、Loadをクリックします。
 - ・ 選択したファイルのサイズを見るには、選択したファイルのサイズボックスをチェックします。
 - ・ 選択したイメージの縮小版を表示するには、Previewボタンをクリックします。

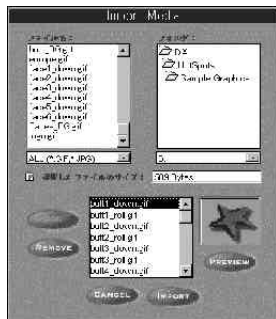
注意事項：ホットスポットを指定する為には、最初に必ず背景イメージをロードして下さい。

注意事項：ズームモードが100%以外の値に設定されているときに背景イメージをロードすると、イメージファイルは自動的に100%でロードされます。

メディアをインポートする

メディア（イメージファイル）をインポートする

1. Mediaボタンをクリックします。Import Mediaダイアログボックスが表示されます。



2. Import Mediaダイアログボックスから、イメージファイル(複数も)をリストします。
 3. インポートしたいファイルを選択し、Addボタンをクリックします。インポートする項目がインポートリストに表示されます。
- ヒント：一度に複数のファイルを選択するには、Shiftキーを押したままインポートしたい複数のファイルをクリックします。
4. Importボタンをクリックします。
- ヒント：インポートされているメディアのリストを表示するには、メディアリストボタンをクリックします。

ホットスポットエリア（複数も）を定義する

エリア選択ツールバーを使用して背景領域を選択することによって、「ホットスポット」を定義できます。Emblaze HotSpotsにはそのためのさまざまなツールがあります。

選択を解除する

- ・選択ツールのいずれかを使用して、選択されたイメージ領域外の任意の箇所をクリックします。

矢印ツール

ホットスポットを移動、サイズ変更、形状変更するときに、矢印ツールを使用します。

ホットスポットを扱う

1. 矢印ツールボタンをクリックします。
2. イメージの選択領域にポインタを置き、クリックします。
 - ・一度に複数領域を扱うには、複数の選択領域を1つのグループにします。そのためには、Shiftキーを押したまま別のホットスポットをクリックします。あるいは、選択したい領域の外側にポインタを置き、選択したい領域全てを囲むようにマウスでドラッグします。

ホット・スポットの形状を変更する

1. 矢印ツールボタンをクリックします。
2. あらかじめ作成したホットスポットをクリックします。ホットスポットを定義しているポイントがハイライト表示されます。
3. ハイライト表示されたポイントをドラッグして、ホットスポットの形状を変更します。

四角形選択ツール

四角形をホットスポットとして定義するときには、四角形選択ツールを使用します。

四角形選択ツールを使用する

1. 四角形選択ツールボタンをクリックします。
2. ホットスポットとして定義する領域のコーナーの1つにポイントを置きます。
3. 定義したい領域上でカーソルを斜めにドラッグします。

注意事項：Shiftキーを押したままカーソルをドラッグすると、正方形として定義されます。

楕円選択ツール

楕円形のホット・スポットを定義するときには、楕円選択ツールを使用します。

楕円選択ツールを使用する

1. 楕円選択ツールボタンをクリックします。
2. ホットスポットとして定義する領域のコーナーの1つにポイントを置きます。
3. 定義したい領域上でカーソルを斜めにドラッグします。

注意事項：Shiftキーを押したままカーソルをドラッグすると、真円として定義されます。

多角形選択ツール

ホットスポットとして多角形を定義するときには、多角形選択ツールを使用します。

多角形選択ツールを使用する

1. 多角形選択ツールボタンをクリックします。
2. ホットスポットとして定義するイメージの輪郭に沿った任意のポイントにポインタを置きます。
3. 定義したい領域上でポインタを斜めにドラッグし、各コーナーをクリックします。
4. 領域の定義を終えたら、マウスボタンをダブルクリックします。

ペン選択ツール

ホットスポットとして任意の輪郭を定義するときには、ペン選択ツールを使用します。

ペン選択ツールを使用する

1. ペン選択ツールボタンをクリックします。
2. ホットスポットとして定義する領域のコーナーの1つにポインタを置きます。
3. 定義したい領域に沿ってポインタをドラッグします。
4. 領域の定義を終えたら、マウスボタンを離します。

データを開く/保存する



作業中の既存のデータ（AMPファイル）を開く

- ・ファイルメニューのOpenボタンをクリックします。Openダイアログボックスが表示され、開くファイルを選択できるようになります。

作業中のデータを保存する（AMPファイルを保存する）

- ・ファイルメニューのSaveボタンをクリックします。Saveダイアログボックスが表示され、現在のデータを保存できるようになります。

4 インタラクティブな ホットスポットの作成

インタラクティブなホットスポットを作成する

この機能により、選択したホットスポットとマウスの動作とがインタラクティブになります。

インタラクティブなホットスポットを作成する

1. 矢印ツールを選択します（本書の前の方にあるエリア選択ツールバーを参照）。
2. ホットスポットを選択します（本書の前の方にある矢印ツールを参照）。
3. インタラクティブの追加ボタンをクリックするか、ホットスポットをダブルクリックします。HotSpot Interactiveダイアログボックスが表示されます。



4. Insertボタンをクリックします。

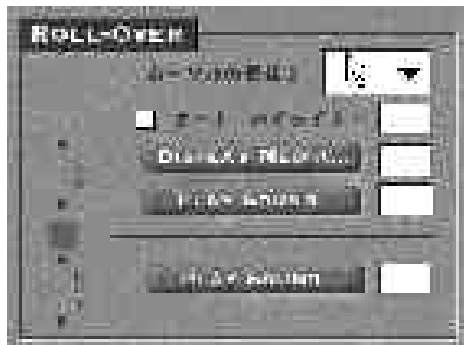
名前を付ける

作成しているインタラクティブなホットスポットの名前を入力します。

Import Mediaボタン

このボタンをクリックすると、Import Mediaダイアログボックスが表示され、ホットスポットからのリンクを作成したいビットマップを選択できます。

ROLL-OVER (ロールオーバー)



IN

マウスカーソルが領域に入るという動作です。

マウスカーソルの形状の変更、表示されているグラフィックイメージの変更、ホットスポットのハイライト、効果音の再生など、ロールオーバーで使用できる各アクションを指定したり、これら4つのアクションを組み合わせで指定して、マウスカーソルがホットスポットにロールインしたときに指定したアクションが行われるようにすることができます。

OUT

マウスカーソルがホットスポット領域から外に出るという動作です。

ロールアウトは、ホットスポットをリセットし、オリジナルメディアを表示し、ハイライトを消します。ロールアウトの際に、効果音の再生を指定することもできます。

カーソルの形状

マウスカーソルの形状を定義できます。

カーソルの形状を選択する

1. カーソルの形状フィールドをクリックします。プルダウンメニューが表示されます。



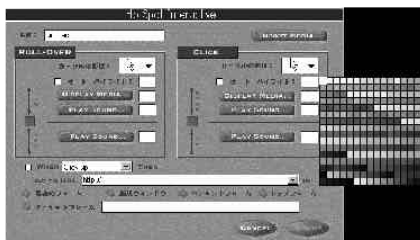
2. メニューから好みのカーソル形状を選択します。選択したカーソル形状がカーソルの形状フィールドに表示されます。

オートハイライト

この機能により、ホットスポットにロールオーバーしたときにホットスポットをハイライト表示することができます。ハイライト部分は、ホットスポットの図形に表示される2ピクセル幅の色付けされた線です。

ハイライトされる色を選択する

1. オートハイライトボックスをチェックします。
2. ボックスの右側のフィールドをクリックします。カラーパレットが表示されます。



3. パレットからハイライト色を選択します。選択した色がオートハイライトフィールドに表示されます。

Display Media

ホットスポットにロールオーバーするときに表示されるイメージファイルを定義できます。

Display Media

1. Display Mediaボタンをクリックします。インポートしたメディア項目すべてをリストしたMedia Listダイアログボックスが表示されます。



2. 表示するメディアを選択します。

注意事項：メディアの名前をクリックすると、メディアをプレビューすることができます。

3. Insertボタンをクリックします。選択したメディア項目番号がDisplay Mediaフィールドに表示されます。

メディアの表示を取り消す

- ・ Display Mediaフィールドに表示された番号を選択し、削除します。

Play Sound

この機能により、ホットスポットにロールオーバーしたとき、またはホットスポットを抜けたときにサウンドを再生することができます。

再生するサウンドを選択する

1. Play Soundボタンをクリックします。使用できるサウンド効果をリストしたSound Listダイアログボックスが表示されます。



ヒント：ホットスポット用のサウンドは、いくつかのテーマに分けられたリストから選択できます。サウンドを選択するときは、左側のリストからテーマを選択し、その後右側のリストからサウンドを選択します。

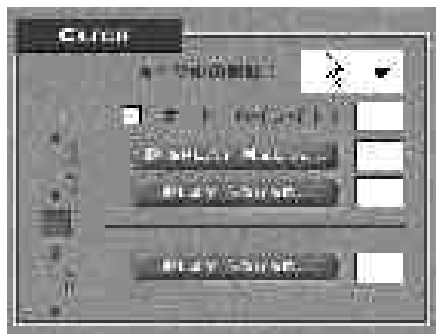
2. 再生用に選択したいサウンドファイルをクリックします。サウンドを事前に再生するには、クリック時に再生ボックスをチェックします。
3. Insertボタンをクリックします。Sound Listダイアログボックスが閉じ、選択したサウンドファイルの番号がPlay Soundフィールドに表示されます。

ヒント：Emblaze HotSpotsで提供される効果音はもちろん使用できますが、その効果音を任意のAUフォーマットの効果音と置き換えたりすることができます。それには、Createボタンをクリックしたときに選択したフォルダ内の.AUファイルを、ユーザが選択した任意のAUフォーマットのファイルに置き換えます。任意の効果音ファイルは、Play Sound機能でインポートしたファイル名と必ず同じ名前にして下さい。

サウンドの選択を解除する

- ・ Play Soundフィールドに表示されている番号を選択し、削除します。

CLICK



ユーザが行ったクリックは、次の2とおりの方法で登録できます。

DOWN (マウスボタンが押された)

ユーザがマウスボタンを押されると、アクティブマップが応答します。この時、効果音を再生させたり、グラフィックイメージを変更することができます。

UP (マウスボタンが離された)

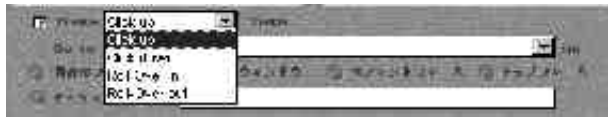
ユーザがマウスボタンを離すと、アクティブマップが応答します。この時、効果音を再生したり、グラフィックイメージをオリジナルに戻したりできます。

When . . . 、Go to URL

この機能により、所定のマウスイベント発生後、あらかじめ定義されたインターネットアドレスにジャンプすることができます。

URLへのジャンプを作成する

1. マウスイベントチェックボックスをチェックすると、このオプションが働きます。
2. 左側のプルダウンメニューから、あらかじめ定義されたWebページへジャンプするマウスイベントを選択します。使用できるオプションは、Click Down、Click Up、Roll-over In、Roll-over Outです。



3. リンク先URLフィールドに、ジャンプ先のWebアドレスを入力するか、あるいは、プルダウンメニューから選択します。
4. 開きたい入力したWebアドレスのHTMLフレームを選択します。

ヒント：Webサイトがフレームを使用している場合、(URLを表示したい)あらかじめ選択したフレームセットを事前に定義することができます。使用できる選択項目は、現在のフレーム、新規ウィンドウ、ペアレントフレーム、トップフレームです。これにより、フレームセットのレイアウトは完全に変わります。

ヒント：フレームセットのレイアウトを保存したまま、あらかじめ選択したURLを特定のターゲットフレームに表示するには、ターゲットフレームラジオボタンをチェックし、名前をターゲットフレームフィールドに入力します。

ヒント：リンク先URLフィールドに指定したURLは、Webページの完全なアドレス、相対リンク（例えば、sample.htmlのようなファイル名）、E-Mailアドレス（ユーザがe-mailを送信できるようにブラウザのダイアログボックスを表示する）、FTPアドレス（クリックすると、ファイルがダウンロードできるようになる）、Gopherアドレス（Gopherページに進む）のいずれかです。

5 アクティブマップ ファイルの作成

作成したデータをインターネットに配信するには、インターネットで受け入れられるファイルフォーマットを生成しなければなりません。HotSpotsプロジェクトを作成しおえたら、この手順を進める事ができます。

アクティブマップを作成する

1. ファイル操縦ツールバーのCreateボタンをクリックします。Create Active Mapダイアログボックスが表示されます。



2. アクティブマップについて、ページタイトル、タイトルの形式、色、位置などの属性を定義します。また、HTMLページの背景色を選択したり、アクティブマップの位置をそのページの基準にしたりすることもできます。
3. Createボタンをクリックします。Select Directoryダイアログボックスが表示され、HTMLファイル、EHSファイル、JPEGファイル、GIFファイル、AUファイル、Applet Playerといった、アクティブマップのコンポーネントすべてを入れたいフォルダを選択できます。
4. これで、ユーザのWebサイトにファイルを送る準備ができました。

注意事項：ユーザのファイルは、同じ名前の既存のファイルに上書きされます。

索引

Addボタン	20	インストレーション	11
AMP	24	インタフェース	13、14
AMP	24	インタラクティブ	25
Applet Player	36	インタラクティブツールバー	15
AU	8、36	インタラクティブの追加ボタン	25
CLICK	31	インポートメディア	20、26
Createボタン	35	インポートリスト	20
Display Media	29	エリア選択ツールバー	14
DOWN	31	オートハイライト	28
EHS	8、36	カーソルの形状	28
FIT	8、15	形状変更	21
GIF	8、36	最低システム要件	9
HTML	8、36	サウンドの再生	30
Insertボタン	30	サウンドリスト	30
JPEG	8、36	四角形	22
Macintosh	9、12	ズーム	15
Openボタン	24	セットアップ(インストレーション参照)	
README	11	選択:四角形	22
Saveボタン	24	選択:楕円	22
Stopボタン	18	選択:多角形	23
UP	32	選択:ペン	23
Windows	9、11	ダウンロード時間モニター	17
アクティブマップ	35	楕円	22
位置決めツールバー	16	多角形	23

ツール：ペン	23	ペン	23
ツール：四角形	22	保存する	24
ツール：楕円	22	ボタン：Add	20
ツール：多角形	23	ボタン：Create	35
ツール：矢印	21	ボタン：Display Media.....	29
ツールバー：位置決め	16	ボタン：Insert	30
ツールバー：インタラクティブ	15	ボタン：Open.....	23
ツールバー：エリア選択	15	ボタン：Save.....	24
ツールバー：ズーム	15	ボタン：Stop	18
ツールバー：配置	16	ボタン：インタラクティブ	25
ツールバー：ファイル操作	14	ボタン：プレビュー	18
並び替え	16	ボタン：ペン	23
背景	19	ボタン：メディアリスト	17、21
背景をロードする	19	ボタン：四角形	22
配置ツールバー	16	ボタン：多角形	23
ハイライト（オートハイライト）		ボタン：楕円	22
表示：カーソル	28	ボタン：並び替え	16
開く	23	マップ（アクティブマップ参照）	
ファイル操作ツールバー	14	メディア：インポート	20、26
ファイルの保存	24	メディア：リスト	29、34
ファイルフォーマット：AU.....	8、36	メディア：表示	29
ファイルフォーマット：EHS	8、36	モニター	17
ファイルフォーマット：GIF	8、36	矢印	21
ファイルフォーマット：JPEG	8、36	要件（最低システム要件参照）	
ファイルを開く	23	領域：後ろに持ってくる	16
プレビュー：オフライン	18	領域：前に持ってくる	16
プレビュー：オンライン	18	ロールアウト	27
プレビューボタン	18	ロールイン	27

ロールオーバー27

ユーザサポート

90日間の無料テクニカルサポートを受けるには、必ずユーザ登録を行ってください。詳しくは「ユーザ登録のご案内」をご覧ください。

テクニカルサポートにあたり、お問い合わせの方法がE-mailの場合はサポートフォーマットに、FAXの場合は製品に含まれる専用のテクニカルサポート用紙に、必要な情報を記入して、下記までご連絡ください。

連絡先：

株式会社トーマンエレクトロニクス Emblazeサポートセンター

E-mail： embsup@tomen-ele.co.jp

FAX： 03-5462-9687

E-mail用のサポートフォーマットは、下記メールアドレス宛に空のメールを送っていただくと自動的に配信されます。

E-mail： embsup@tomen-ele.co.jp

電話によるお問い合わせは受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。

Frequently Asked Questions (FAQ) についてはGEO社のWebサイトを参照してください。

GEO社の日本語版ホームページは<http://www.jp.emblaze.com>です。



[HTTP://WWW.JP.EMBLAZE.COM](http://www.jp.emblaze.com)

GEH-M001-001